

『南国の丘で』 寸評

- ・ 屈託なく進行する、のびやかな風景
- ・ 木管楽器の音色がマッチする、が、やや没個性
- ・ 全体の流れのなかで各楽器ソロの配置&構成がきちんとかんがえられている
- ・ m.5-8 モチーフのくずしかたがシンプルながら上手い
- ・ コンセプトをタイトルに加え『南国の丘に吹く風』としたらどうだろう

完成度をさらに上げるために

- ・ 強拍&オモテ拍の和声配置にのぞましくないもの；
属和音の第3音重複 (m.4 b.4) 限定進行音は重ねない
長3和音第1転回形の第3音重複 (m.9 b.1-2) 上声には第3音をふくめない
空虚5度・4度 (m.10 b.3-4) ここはドミナントにしたい
(m.11 b.3) Ob.で第3音をおぎなおう
(m.12 b.1) 空虚5度を避けるため、3人とも主音にしてしまう
(m.16) ぜひ第3音をOb.でふくめよう
- ・ m.14 b.3 ベースとメロディが3オクターヴ以上空いている
はなれすぎないように和声配置も意識しよう
- ・ m.15 b.1 ここはドミナント、ついでにベースの出番にもしよう
- ・ m.11 b.3 ファゴットは b.2 のドから2度上行したレのほうが自然

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

美しい響きのためにもう少し和声配置の吟味を!

持庵 勉